

雪若丸だより

～茎数確保編～



～ 6月は浅水管理とワキ対策の徹底を ～

「雪若丸」は初期生育が収量に影響しやすい品種です。浅水管理により水温、地温の上昇に努め、分けつの促進を図りましょう。

1. すぐに生育を確認しましょう！！

6月10日の指標の茎数は、70株植えでは1株当たり11本/株、60株植えでは13本/株です。管内でも茎数が少ないほ場がみられます。田んぼに行って茎数が足りているか確認しましょう。

雪若丸の生育指標

6月10日				6月20日			
草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
25.0	240	6.4	37	32	460	8.1	43

2. 初期生育を確保するために今やること！！

- 「雪若丸」は指標通りの茎数を確保しないと収量に結びつきません。2～3cm程度の浅水管理で分けつ促進を！！
- 気温の高い日が続き、ワキが発生しやすくなっています。ワキが発生したら、速やかに2～3日の田干しを行ってください。

3. 6月20日頃までの生育量が不足した場合の対応は？

ワキ対策を実施しても生育が不足している場合(茎数 300本/㎡以下、葉色 40以下)は、窒素成分量 1kg/10程度を補完施用します。(この場合、穂肥量は減肥してください。)

4. 有効茎確保後は速やかに中干しを

追肥時期が遅くなると、玄米粗タンパク質含有量が高まります。6月中に中干しに入れるようにしましょう。生育量が多い場合は早めに中干しを行い、6月30日の生育が560～750本/㎡、葉色(SPAD値)44以下になるよう、生育を調整してください。

暑さに体が慣れていない時期です。熱中症対策を忘れずに！！